

第4回畠山公開シンポジウム

ジャポニズムの全貌 ～ホイットスラーから 何が始まったのか？

本シンポジウムは、京都国立近代美術館の「ホイットスラー展」、京都市美術館の「ボストン美術館華麗なるジャポニズム展」開催に合わせ、ジャポニズムの最初期に位置するホイットスラーとその作品を再検討したうえで、ジャポニズムの発展全体を俯瞰的にとらえなおすことを目的としています。異国趣味、モチーフ、画中画、空間表現、画面構成、色彩や筆触、装飾性、署名や額縁など、ホイットスラーの作品にはジャポニズムと関連するあらゆる要素が観察されます。ホイットスラーを起点としてジャポニズムの諸問題を深く、幅広く捉え直すことは、まさに有意義な試みだと言えるでしょう。

日時 2014年10月3日(金)午後3時～午後5時
10月4日(土)午前10時～午後5時

会場 京都国立近代美術館1階講堂 [入場無料]

主催：ジャポニズム学会

共催：公益財団法人畠山文化財団／京都国立近代美術館・京都市美術館（10月4日のみ）